

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年6月14日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県甲賀市甲賀町田堵野883番地

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
湖南精機株式会社 代表取締役 荒川雅幸

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	湖南精機株式会社 代表取締役 荒川雅幸
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県甲賀市甲賀町田堵野883番地

1 事業者の概要

事業所の名称	湖南精機株式会社					
事業所の所在地	滋賀県甲賀市甲賀町田堵野883番地					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	4	2	9	※ 産業分類・細分類名称を記載 その他の金物類製造業
事業の概要	自動車及び一般産業用金属部品の冷間圧造と切削加工					
従業員の数	15	人	作業時間	8	(8時から17	時間/日 時)
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	台	熱源設備	台	照明設備	142 台
	コンプレッサ	2 台	空気調和設備	台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2021	年度	報告対象年度	2023	年度
	終了 年度	2023	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち湖南精機株式会社は、社是である

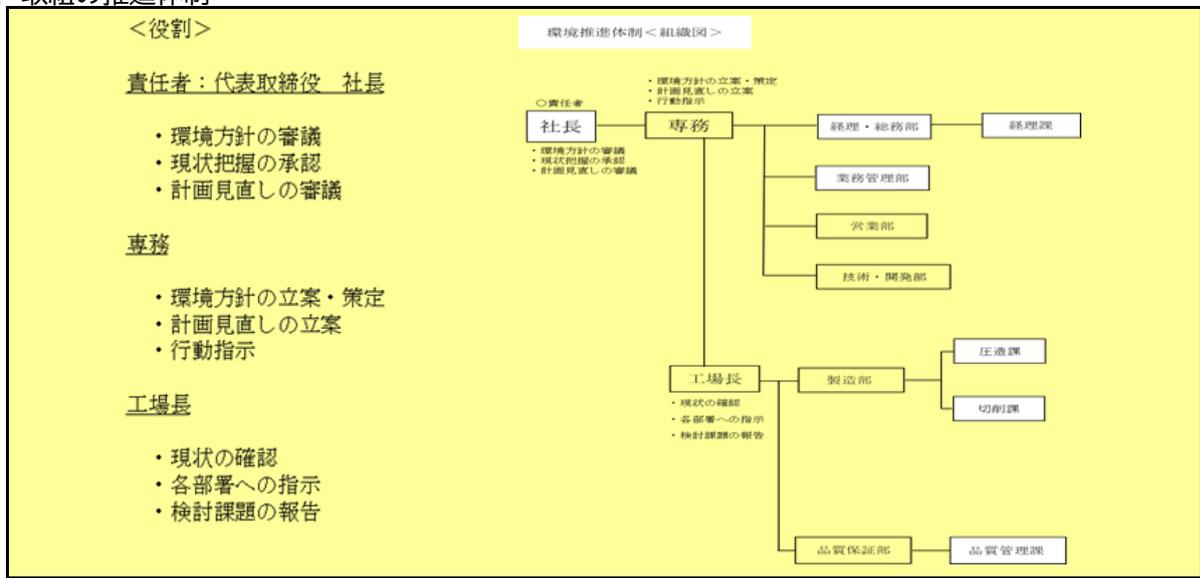
- 一. 企業を通じて社会に貢献する。
- 一. 社員相互の親睦を旨とする。
- 一. 企業としてのあらゆる信用を確立する。

を基に、環境指針として「エコアクションプラン5」

- ・水質汚染の防止
- ・大気汚染の防止
- ・土壌汚染の防止
- ・産業廃棄物のリサイクル
- ・ISO認証継続

の5つを掲げ、省エネルギー及び省資源による製造と廃棄物の削減に取り組み、環境と安全に配慮した商品の提供を約束し、環境の保全と予防に継続的に取り組みます。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・工場内の照明を全て手元スイッチ式に改造し、不必要な照明はすぐに消せるよう改善
- ・休憩時間は全ての扇風機や暖房機器を停止し、照明を消灯するよう徹底
- ・エアコンプレッサーをインバーター制御式に変更
- ・ゴミの分別を細分化し徹底
- ・電力供給会社をCO₂排出の少ない新電力会社へ切り替え
- ・工場屋根ほぼ全てに太陽光発電パネルを設置し50kW全量をFIT電気供給

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	製造工場の蛍光灯照明のLED化	2021年～2022年	工場内の全蛍光灯142台更新完了(全体の100%)
2	運用改善	事務所エアコン設定温度の管理と徹底	2021年～2022年	継続実施中
3	運用改善	製造工場内エア漏れの調査と修繕	2021年～2022年	継続実施中
4	運用改善	製造工場内コンプレッサの最低吐出圧力の調査と引下げ	2021年～2022年	設定圧力調査中
5	設備導入	製造工場の変圧器を高効率化+最適サイズの変圧器へ変更	2022年～2023年	今期中に更新予定

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>滋賀県産業支援プラザ中小企業の省エネ診断支援事業において、自社の省エネ診断を実施した結果、報告書内で改善提案頂いた事項を基に実行をし、3年間で15%の電気エネルギーの削減を目標とします。</p>	<p>【2021年度】 工場内の全蛍光灯142台をLEDに更新しました。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	62	62	52	57		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	84	94	80	79		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	84	94	80	79		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0		
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		84.000	94.000	80.000	79.000		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	工場屋根ほぼ全てに太陽光発電パネルを設置し50kW全量をFIT電気供給
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	50	kW	水力・小水力		kW	地熱		kW
太陽熱		kW	バイオマス		kW	その他 ()		kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績								

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告					
		(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	
再エネ電気設備での発電量	kWh	81	79	81	74		
上記のうち自家消費量	kWh	0	0	0	0		

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
<p>1. 自社において現行製造しております自動車関連パーツ部品に、燃料電池自動車(FCV)に搭載されている部品がございます。弊社が環境対応の車種に搭載される部品を製造することによって、世の中の温室効果ガスの排出の削減に繋がっています。これからも低炭素社会づくりに貢献できるよう、環境対応に関する部品や案件は積極的に受注し製造していきたいと考えております。</p> <p>2. 各種会合や営業など、他社との会話の中で、自社の”低炭素社会づくりの取り組み”について積極的に紹介し、世間に広く活動内容が伝わるようにしていきます。</p> <p>また、一つでも真似してもらえそうな自社の取り組みを考え、継続的に実施していけるよう努力します。</p>	<p>【2023年度】 該当部品も引き続き継続的に受注を頂いております。</p>
	CO ₂ 削減貢献量
	t-CO ₂

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
<p>1. 営業部では新規取引先や新規受注に対し、毎年度ごとに年間目標件数や営業計画を決め活動しております。日々の製品見積りや新たな業種への商談を業務とする中で、環境対応に関する事業や案件の受注を優先的な方針として積極的に営業活動に取り組んでいきます。</p> <p>2. 当社は商工会や工業会などの各種会合に所属しております。会合活動の中で環境保護に関する活動を発案することも出来ますし、自社の取り組みを発表する場面もございます。また、日常業務や営業の中でお客様とお話する際にも同じように、環境保護に関する事例等を会話の中に取り入れていくことで、一人でも多くの方々への環境に対する意識を変えるきっかけになると考えます。</p>

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
<p>【2023年度】 環境対応車種の部品を継続して製造させて頂いていることは、当社の製造する部品が環境に関する社会貢献を出来ていることと大変嬉しく誇りに感じております。また、最近では新規製品見積りも電気自動車に使用される部品の照会が増えて来ているように実感しております。</p>
CO ₂ 削減貢献量の算出根拠

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度				
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂						
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂						
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh						
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度				
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	低炭素通勤	自転車や徒歩での通勤を推進し、自動車燃料の削減を促す仕組みづくりを行ないます。	2021年～2023年	社内啓発中
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
				()年度				
	保有車輛の数	台						
	上記のうち 次世代自動車の数	台						
特記事項								

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	グリーン購入	事務用品等のグリーン購入の推進	2021年～2023年	継続実施中
2	SDGs	【社員教育】低炭素社会づくりに向けた自社の取組の徹底を促したり、世間の取組みの紹介を全社員に教育することで、今後の活動の意識付けや、新たな改善を発掘していきます。	2021年～2023年	継続実施中
3				
4				
5				